# 施 策 評 価 シ ー ト

## 1 総合計画上の位置づけ

担当課： 市民健康課

| 施策名 | 07 地域医療 |
|---|---|
| 政策名 | 地域全体で「人」を支える |
| 施策がめざす将来の姿 | ・救急医療体制、医療機器及び診療体制が充実し、休日や夜間においても適切な医療が受けられます。<br>・地域の診療所や病院が連携することで地域医療体制が整い、どの地域においても安心して医療サービスを受けることができます。 |

## ③ 施策評価指標

| 成果指標名 | 単位 | 後期当初値 | 令和９年度目標 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 休日在宅当番医制協力医療機関数 | 機関 | 33 | 33 | | |
| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | 34.00 | 34.00 | 35 | | |

| 成果指標名 | 単位 | 後期当初値 | 令和９年度目標 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 歯科在宅当番医制協医療機関数 | 機関 | 31 | 31 | | |
| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | 31.00 | 31.00 | 29 | | |

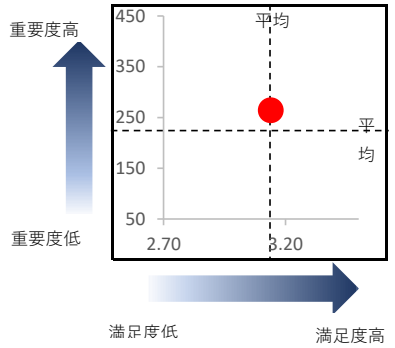
## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

| **重要度**／単位（人） |
|---|
| **令和7年度** |
| 264 |

| **満足度**（満足している市民の割合）／単位（%） | | |
|---|---|---|
| 令和6年度 | | **令和7年度** |
| 90.3 | → | 88.1 |

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）




## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

市内どの地域でも安心して医療が受けられる体制づくりや休日・夜間の救急医療の体制づくりは必要不可欠です。市民アンケート調査では、満足度がやや低下したことから、その要因を探る必要があると考えます。現状の休日・夜間の救急医療体制は維持するように引き続き努めます。

国保診療所は過疎化が進み、高齢化率が非常に高い地域にあります。今後は人口減少に伴う患者の減少が見込まれるため、現状を分析したうえで診療所の在り方を検討し、持続可能な地域診療体制を構築していきます。

## 5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：医師・看護師確保対策事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 21,330 | 関市地域医療確保事業（寄付講座） | → | → | 大学病院から専任医師による診療支援を受けるため、引き続き地域医療の人材確保と育成のために事業を継続します。 | ○ |

事務事業②：地域医療体制整備支援事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 23,362 | | | | 休日・夜間の救急医療及び重篤患者の医療を確保するため、事業を継続します。 | |

事務事業③：周産期医療体制強化事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 8,250 | 高度な周産期医療病床確保 | → | → | 病床が確保されることで市民の安心・安全に繋がるため、事業を継続します。 | ○ |

事務事業④：骨髄移植ドナー助成事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 140 | | | | 共助で成立している医療であるため、今後も継続します。 | |

事務事業⑤：救命救急センター運営支援事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 21,672 | | | | 重篤な救急患者への医療確保として、必要不可欠な事業であるため、今後も継続します。 | |

事務事業⑥：地域救急医療推進事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 613 | 救急医療情報等普及啓発実施事業補助金 | ↘ | → | 救急医療機関の受診の適正化、救急車の適正利用、住民の安心・安全の提供を図るために有効な事業であるため、今後も継続します。普及啓発実施事業補助金については対象とする事業を見直します。 | △ |

事務事業⑦：洞戸診療所診療支援事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 18,431 | 診療支援 | → | → | 中核医療機関からの診療支援は継続的に必要です。常勤医師を中心にサポート医師と連携し、地域医療の維持に努めます。 | ○ |

事務事業⑧：板取診療所診療支援事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 2,544 | 診療支援 | → | → | 中核医療機関からの診療支援は継続的に必要です。常勤医師を中心にサポート医師と連携し、地域医療の維持に努めます。 | ○ |